
漢語・和語・外来語

類義語の中には、語種の違いによるものも含まれています。語種はことばの出身の違いによる分類です。例えば、「はやさ」と「速度」と「スピード」の違いです。「はやさ」はもともと日本語にあった言葉で『和語』、「速度」は古い中国から取り入れた言葉で『漢語』、「スピード」は外国語から取り入れた言葉で『外来語』と言います。

和語は、やさしく温かいニュアンスがありますが、意味があいまいなものもあります。漢語は、文字を見ただけで意味が判断できたり、格式や権威をつけたりするのに非常に便利ですが、聞くだけでは分からない場合もあります。外来語は、知性や権威などを誇示することができますが、必要もないのに多用すると嫌味な感じや軽薄な感じを与えてしまいます。

1. 下線部の和語を意味の区別が分かる漢語に直してください。

- (1) 彼女は多く観客の前でピアノをひいた。 ()
- (2) 正当性を証明するために多くの例をひいた。 ()
- (3) 犯人が警官にひかれて建物の中に入った。 ()
- (4) 王家の血筋をひく者が断絶しないようにする。 ()
- (5) 戦況が悪化してやむを得ず兵をひく。 ()

2. 下線部の漢語をわかりやすい和語に直してください。

- (1) 迎賓館の周囲の取り間締まりを強化する。 ()
- (2) 迷宮入りしそうだった事件の真相が判明する。 ()
- (3) 今後の日本の進むべき方向を示唆する。 ()
- (4) 公園からホームレスのテントを撤去する。 ()
- (5) 相次ぐ不祥事で株主総会が紛糾する。 ()

3. 下線部の外来語を和語や漢語に直してください。

- (1) この事件はインパクトが強かった。 ()
- (2) 彼のカジュアル・ウェアは感じがよい。 ()
- (3) 彼はコンスタントによい成績をとる。 ()
- (4) たえず生徒とコンタクトをとるよう心掛けよう。 ()
- (5) あの会社のプロバガンダは効果的だ。 ()